

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
1	地域づくり 連携推進事業	防災	由良川流域内水対策 事業費	【事業の目的】 由良川流域における浸水被害の軽減を図ることを目的として、必要な対策を位置付けた「由良川水系流域治水プロジェクト」に基づき、特に内水被害の大きい志高地区において、国や府と連携し内水対策を推進を図る。 【事業の内容】 内水排除ポンプ施設の検討を行うために必要となる、輪中堤など周辺地形の測量を行い、ポンプ規格の検討などを実施。	1,325	660	志高地区の内水対策のうち、内水排除ポンプ施設の検討を行うために必要となる、輪中堤などの地形を把握するための測量業務を実施 ・現況実測平面図作成 ・縦断測量 ・横断測量	内水排除ポンプ設置を検討している箇所の詳細な地形を把握することにより、必要となるポンプ規格を選定することができ、これまでより詳細な検討を実施することができた。
2	地域づくり 連携推進事業	防災	自主防災組織づくり 推進経費	【事業の目的】 地域の防災意識を向上させることで、災害の被害軽減に寄与する。 【事業の内容】 防災士養成講座の開催、地域への出前講座の実施。これらの活動を通じて、地域住民の防災に対する理解と意識を高め、自主防災組織の普及を図る。	672	330	令和6年度防災士養成講座は35名が受講し、31名が防災士資格を取得。 令和6年度までの合計資格取得者は106名。 地域への出前講座を10回、約170人に実施。	地域で活動する防災士の増加と、養成講座により資格取得した防災士同士が意見交換する場として設けた「防災士ミーティング」を通じた防災活動への参加促進により、地域防災力を向上させ、地域における自助・共助の取り組みを強化することができた。 また、地域への出前講座に積極的に取り組んだことにより、多くの市民に防災への関心を持ってもらうことができ、防災意識の向上につなげることができた。
3	地域づくり 連携推進事業	子育て 支援	子ども・子育て支援 事業計画策定事業費	【事業の目的】 こども家庭庁や京都府の方針・各種施策の取り組みを踏まえつつ、こどもの健やかな育ちや子育て世帯の支援並びにこどもの意見などを反映した第3期こども・子育て支援計画を策定する。 【事業の内容】 舞鶴市こどもまんなか計画の策定	49	20	・舞鶴市こどもまんなか計画策定に伴う計画冊子印刷	計画策定方法を見直した結果、当初の想定よりも事業費を削減でき、最小限のコストで計画を策定し、市ホームページなどで周知できた。
4	地域づくり 連携推進事業	環境	まいづる環境市民会 議事業費補助金	【事業の目的】 将来を担う子どもたちを含め、多世代に様々な環境問題について考えてもらう機会を創出し、広く普及活動に取り組むため、市民団体への補助を行う。 【事業の内容】 ・地球温暖化防止PT活動費 ・循環型社会PT活動費 ・生物多様性PT活動費 ・クリーンキャンペーンPT活動費	1,010	500	・舞鶴市内の小中学校、その他教育機関にて環境学習を31回実施 ・地球環境に関する普及啓発を目的としたイベント「環境フェスタ2024」を実施し、約2,200名来場 ・池内川上流にて約40名の未就学児、小学生とその保護者を対象に水生生物観察会を実施 ・10月をクリーンキャンペーン月間と定め、全自治会へ地域清掃の呼びかけを行った。10月20日に予定していた海岸一斉清掃については天候不順のため中止となったが、市域全体で地域清掃の機運を高めることができた。	小中学校等への環境学習や環境イベントの実施を通して、子どもたち、ひいては両親や祖父母等まで広い世代へ環境啓発を行うことができた。 環境学習においては、座学だけでなく、体験型の学びを取り入れた環境学習の実施にあたり、京都府地域温暖化防止活動推進センター等から提供されている環境学習用ツール（発電やエネルギーを生み出す仕組みを知る実験キットや地球温暖化が要因となって起こり得る危機を体感できるVRゴーグル）を活用するなど、子どもたちの興味を掻き立て、理解を深める授業づくりに取り組んだ。 また、環境フェスタにおいては、「地域防災力の向上を目指した地域社会連携に関する協定」に基づく外部給電車両の借り上げを行い、エネルギーに関する取り組みを市民に広く周知することができた。
5	地域づくり 連携推進事業	環境	リサイクルプラザ施設 長寿命化事業費	【事業の目的】 平成10年に供用を開始したリサイクルプラザは、稼働から26年が経過し、破碎設備等の主要設備の老朽化が進んでいる。今後も安定した廃棄物の適正処理をするため、施設の長寿命化計画策定業務を行う。 【事業の内容】 リサイクルプラザの施設長寿命化工事に向け、今年度、施設長寿命化計画を策定する。 この計画に基づき、令和7年度に施設長寿命化工事実施設計、令和8年度から12年度までに施設長寿命化工事の予定。	5,731	2,860	施設の長寿命化計画の策定に係る業務委託料：5,731,000円	安定したごみ処理を継続するため、施設の老朽化に伴う改修箇所を調査することで計画的な整備を実施するための指針が作成できた。
6	地域づくり 連携推進事業	文化振 興	海外引揚開始80年・ 世界記憶遺産登録10 周年記念準備事業費	【事業の目的】 令和7年は戦後80年、本市が所有する引き揚げに関する資料がユネスコ世界記憶遺産に登録されてから10周年の大きな節目を迎えるにあたり、国内外メディアの関心も高まりを見せている。令和6年度は、この好機を逃すことなく府外においても、学生語り部の活動やメディアを活用した積極的なプロモーション等を展開することにより、引き揚げの史実の継承や平和の尊さを発信し、引揚者を温かく迎えた地域の歴史を「世界へ未来へ」とつないでいき、さらには、取り組みを通じて、舞鶴引揚記念館のブランド化、認知度向上を図り、博物館の発展と来館者増を目指す。 【事業の内容】 ・府外への発信を重点に、首都圏、近畿圏などへの情報発信によるパブリシティの活動の展開 ・学生語り部と市外の博物館や他地域の若い世代との交流機会の創出	1,654	820	首都圏メディア向けPR活動 ・ニュースレターの発行 ・首都圏メディア現地取材招致 ・首都圏イベントへのメディア誘致 次世代による継承を考える平和未来フォーラム開催（新宿住友ビル）	首都圏や近畿圏などへの情報発信やパブリシティ活動など、積極的なアプローチがメディアの関心を高め、舞鶴での現地取材や首都圏イベントへのメディア誘致につながった。東京で開催し、200名の参加者が来場した平和未来フォーラムでは、学生語り部が活動発表を行い、メディア18社が来場。引き揚げのまち舞鶴の史実を広く発信し、舞鶴引揚記念館の認知度の向上につなげる取り組みが展開できた。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
7	地域づくり 連携推進事業	文化振興	新・舞鶴市史編さん 事業費	【事業の目的】 舞鶴市の原始・古代から現代までの発展過程を適正に理解及び、歴史的資料を適切に整理・保存し、後世に継承することにより、市勢の発展と市民の郷土愛の醸成に資するとともに、未来に希望が持てる活力あるまちの展望と実現につなげる。 【事業の内容】 本市の歴史的資料・資源等を調査・研究し新たに「新修・舞鶴市史」を編さん・刊行	3,136	1,560	・5つの専門部会（①中世以前、②近世、③近代、④現代、⑤文化遺産、委員総数41名）を設置し、各部会ごとに編さん方針やロードマップなどについて取りまとめるとともに、資料調査等を実施した。 ・16名の市民サポーター（ボランティア）により、古文書等の写真撮影やラベル貼り、目録作成などに取り組んでいただいており、市民協働の取組として推進した。 ・市民への積極的な情報提供においては、市史編さんだよりを2回（8月・3月）に発行したほか、地域史講話を2回（11月・2月）開催した。	・市史編さん事業の具体的な展開につなげていくための体制が確立できた。今後、部会を基盤として、市史刊行に向けた取組を計画に推進する。 ・地域講話では、毎回参加者が増え、2月開催時は60名の参加があった。より多くの市民が地域の歴史に関心をもっていただけるよう、引き続き、様々な媒体の活用や手法により情報発信や情報享受の機会創出の充実に努めていく。
8	地域づくり 連携推進事業	文化振興	子どもの豊かな育みを 支える環境づくり 事業費補助金	【事業の目的】 対象となる事業（文化振興事業等）の一部費用を補助し、子どもの豊かな育みを支援し、障害や不登校など様々な課題を抱える子どもの社会参加その他の子どもに関する社会的課題の解決に寄与する。 【事業の内容】 補助上限：200万円、補助率4分の3 対象事業：①子どもが参加する事業。②舞鶴市内を活動拠点として実施される事業。③年間を通して継続的に行われる事業。④営利を目的としない事業。	2,582	1,290	補助金の交付 2件 ・舞鶴子どもコース 2,000,000円 ・子どもの多彩な体験を育む場づくり事業 562,000円	補助金の交付により、さまざまな課題を抱える子ども達の居場所となる、学年や学校を超えて仲間と繋がる活動に寄与することができた。
9	地域づくり 連携推進事業	文化振興	歴史文化資産活用経費 （歴史文化資産調査 記録事業費）	【事業の目的】 「舞鶴市文化財保存活用地域計画」に基づき、本市の貴重な歴史文化遺産の価値を掘り起こし、次世代へ継承するために、未調査の遺産等について必要な調査及び記録作成を行い、歴史文化の魅力を活かしたまちづくりを推進する。 【事業の内容】 本市の歴史文化を特徴づける未調査の歴史文化遺産（建造物等）について、必要な調査及び記録保存用図面等の作成を実施する。	2,849	1,420	近代化遺産として未調査の防衛省所有倉庫1棟について、記録保存を目的とした調査を舞鶴高専に委託して実施。報告書に取りまとめた。	近代化遺産のまちとして、市内に現存する貴重な近代化遺産の調査を着実に実施し、次世代に引き継ぐ貴重な調査成果となった。
10	地域づくり 連携推進事業	文化振興	歴史文化資産活用経費 （伝統的建造物群保存 対策事業費）	【事業の目的】 舞鶴市内を代表する景観のひとつである吉原地区において重要伝統的建造物群保存地区への登録に向け事業を進める。 【事業の内容】 ・地元保存会との地元啓発事業支援 ・伝建地区保存審議会制定のための条例制定と審議会の立ち上げ ・保存基準を地元と協議	2,724	1,200	・歴史的景観の保存・活用に関する研究業務委託 ・土地の登記記録調査業務委託	吉原地区における重要伝統的建造物群保存地区への登録に向けて、必要な業務を委託し、事業を推進することができた。
11	地域づくり 連携推進事業	文化振興	近代化遺産保存経費	【事業の目的】 市内に現存している老朽化が進む近代化遺産を保存（現状保存・記録保存）するための指針を策定し、適切に保存する体制づくりを行うもの。 【事業の内容】 ・近代化遺産保存活用計画に向けた審議会の設置 ・計画の基礎となるデータベース構築	816	400	近代化遺産保存審議会を3回開催。近代化遺産保存計画の策定に向けた審議を行った。	近代化遺産保存計画の基礎となるデータベースの整備や、計画の方針等を定めることができた。
12	地域づくり 連携推進事業	文化振興	赤れんがパークサイン マニュアル作成に係る 研究委託事業	【事業の目的】 赤れんがパークにおいては、商業目的の出店者にもニーズがある一方で商業用等に設置する看板の規定がないため、赤れんがの景観を損なわない看板設置基準を定めることを目的に、日本近代化の歴史を感じられる景観を保存するための広告物の大きさや制限される色彩を定めるマニュアル作成研究を、専門的知見を有する舞鶴高専に委託するもの。 【事業の内容】 日本近代化の歴史を感じられる景観を保存するため、広告物の大きさや制限される色彩を定めるマニュアル作成研究を、専門的知見を有する舞鶴高専に委託するもの。	390	190	・現地調査（4月） ・中間報告（5月） ・内容協議、精査（6月～2月） ・成果報告（3月）	専門的知見を有する舞鶴高専に作成研究を委託し、関係機関とともにまちづくりを考え、協議を重ねたことにより、赤れんが倉庫等の良好な景観の保全に資するマニュアルが作成できた。令和7年6月から施行しているため、今後の効果検証に努めたい。
13	地域づくり 連携推進事業	地域・ 産業創造	ふるさとまつり事業 費補助金	【事業の目的】 「舞鶴ゆかり」の地域資源や魅力ある歴史・文化や自然等の観光素材を活用し、地域が主体となって魅力発信や観光振興、地域文化の継承等住民参加による協働のまちづくりの推進に資する行祭事の経費に対して、補助率1/2で支援する。 【事業の内容】 (1) 補助対象（下記のいずれかの条件を満たし、かつ市内外からの観光誘客と本市のPRに資する行祭事） (a) 地域住民主体の地域の伝統や文化、歴史を伝える行祭事 (b) 地域住民主体の四季の自然資源を活かした行祭事 (c) 地域住民主体の地場産品や地域の食文化を発信する行祭事 (d) 地域住民主体の地域の特性や資源、コンテンツを活用した行祭事	7,014	3,500	7事業に対し補助金を交付（7,014千円）。うち主なものとして、「みなと舞鶴ちゃった花火大会」（約4,000発の花火を打ち上げる花火大会：入込数約3万人）、「田辺城まつり」（田辺籠城を題材とした講談や鎧武者行列の巡行等：入込数約1.4万人）、「まいづる魚まつり」（市民参加セリ市や即売会など：入込数約10,000人）等。	「舞鶴ゆかり」の地域資源や魅力ある歴史・文化・自然等の観光素材を活用し、地域が主体となって魅力発信や観光振興、地域文化の継承等住民参加による協働のまちづくりを推進できた。
14	地域づくり 連携推進事業	地域・ 産業創造	地域資源を活かした エリアブランディング 事業費 （城下町エリアみなと オアシス推進事業費）	【事業の目的】 みなとオアシスにも認定される西舞鶴地域において、海辺の城下町としての観光、暮らし、産業を重層的に貫くブランディングを行なうことは、シビックプライドの醸成と活力ある地域経済に不可欠であるため、海・港を活かした観光まちづくりのアプローチとして、道、鉄道、船からの流入をエリア内の回遊につなげる事業を展開するもの。 【事業の内容】 エリアブランディング及び観光誘客と滞在時間の延長・地域消費につながる港と城下町エリアのまち歩きイベントの開催。	2,499	1,240	城下町エリアの周遊を目的とした『続・戦国宝探しin舞鶴』と題し、若年層及びその保護者をメインターゲットに「戦国時代」「細川幽斎」「田辺城」等をテーマとした謎解きのストーリーを作成。7,877人が参加し610人がクリア。クリアした方にはノベルティとしてオリジナル付箋を配布した。	城下町の歴史・文化を活かしたイベントの開催により、田辺城址及び城下町周辺の歴史や文化に触れながら城下町周辺地域の周遊につながった。

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
15	地域づくり 連携推進事業	地域・ 産業創造	みなとオアシス活用 事業費	【事業の目的】 令和4年度のみなとオアシス登録を契機として地域住民の交流や観光振興通じた地域の活性化を目指すなか、みなとオアシス登録施設においてイベントを実施し、賑わいをもたらすことで、周辺地域住民が「みなと」を憩いの場として身近に感じ、「みなと」を特色とした西のまちづくりへの関心・期待に繋げ、住民参加による取り組みを生み出す契機とする。 【事業の内容】 ・みなとオアシスイベントの実施 ・府内連携港との横連携	1,324	560	・みなとオアシスイベント「京都舞鶴ベイサイドフェスタ」の実施 ・他港イベントへの出展・PR活動	第八管区海上保安本部主催の「ブルーフェスタ2024」との同日開催でイベントを実施した。当日は約3,000人の方にご来場いただき、「みなと」での賑わいづくりに寄与した。 また、府内の登録港（4港）同士の横連携が定着しており、互いのイベントに協力し合う体制づくりにつながっている。
16	地域づくり 連携推進事業	地域・ 産業創造	ビジネス成長応援プロジェクト事業費 （市内事業者創業応援事業費）	【事業の目的】 ビジネスモデルの構築や資金調達など創業に必要な要素に応じて、各支援機関（銀行、商工会議所等）の専門性を活かした創業支援フォローアップを行い、創業促進及び経営安定化を図る。 【事業の内容】 創業支援等事業計画に基づき、創業塾、創業サロン、チャレンジシップ斡旋の支援を実施。	1,500	750	・創業サロン（9月、12月） ・創業スクール（全5回 10～11月）	各支援機関と連携し、事業者の各ステージに合わせた支援を提供することで、創業の機運醸成と新規創業の促進につながった。
17	地域づくり 連携推進事業	地域・ 産業創造	ビジネス成長応援プロジェクト事業費 （市内事業者育成支援事業費）	【事業の目的】 市内事業者が原材料・燃料価格の高騰や人材不足等の様々な経営課題に直面する中、舞鶴商工会議所や金融機関など関係機関が一体となって、デジタル化・DX促進による労働生産性の向上をはじめ、経営力向上を図るとともに、経営安定化を図る。 【事業の内容】 経営革新・多角化等、競争力向上セミナーの開催等	1,680	840	・広報戦略セミナー（6月、7月） ・商品開発セミナー（8月、9月） ・価格戦略セミナー（11月）	関係機関が一体となり、多様な経営課題に対応する実践的な知識を提供し、収益改善や労働生産性の向上につながる支援ができた。
18	地域づくり 連携推進事業	地域・ 産業創造	産業振興プラットフォーム推進事業費	【事業の目的】 本市事業者向けに、産業・企業に関する支援施策等の情報発信を行う産業振興プラットフォームを構築し、各支援機関が持つノウハウやネットワーク、支援メニューを効果的に提供しながら伴走支援を行い、市内企業の経営革新や基盤強化を促進し、地域経済の活性化を図る。 【事業の内容】 ・専門家相談員の配置 ・Webプラットフォームの作成等	3,905	1,950	・専門家相談員の配置 ・商工会議所との定期的な情報交換会の実施 ・課題・ニーズ把握のためのアンケート実施（1025社中213社回答） ・経営課題に合わせた支援の実施（事業承継、デジタル・IT化等） ・LINEを活用したWEBプラットフォームの構築	個別課題を持つ事業所を専門チームが訪問し、関係機関と連携した具体的な支援を実施することで課題解決につながった。また、多くの事業者が必要とする情報にアクセスできるLINEを活用した情報発信の仕組みを構築できた。市内事業者の課題解決と成長を効果的に支援することができた。
19	地域づくり 連携推進事業	地域・ 産業創造	共助による移動手段（meemo）確立に向けたMaaS推進事業	【事業の目的】 令和6年度から高野地域の住民組織「高野地域協議会」が運行主体となって運営される住民同士の共助の取り組みによる移動マッチングサービス「meemo（ミーモ）」を将来にわたり持続可能なサービスとするため、地域に寄り添った支援を行う。 【事業の内容】 ・舞鶴市交通空白地有償運送支援費補助金 ・運営伴走支援業務委託	3,111	1,550	「meemo」を通年実施 ・対象地域:高野地域 ・期間:令和6年4月～令和7年3月 ・会員数:118名(内、ドライバー13名) ・マッチング送迎回数 836回 ・マッチング成功率 98.8%	成果指標としてmeemo利用回数720回を掲げ、高野地域協議会による円滑なmeemo運行にむけた支援を行ってきた結果、指標を上回る利用回数や高水準なマッチング率を堅持し、当該サービスが地域に根付いた取組となることができた。
20	地域づくり 連携推進事業	万博	舞鶴市・高浜町連携青葉山エリアブランディング事業費	【事業の目的】 大阪・関西万博の開催を契機とした人流拡大の機会を最大限に生かすため、隣接する高浜町と連携した観光コンテンツの磨き上げの他、農林水産、文化、暮らしにまたがる青葉山エリアのブランディングを推進する。 【事業の内容】 ・「吉坂堡塁砲台」のモニターツアーの開催 ・青葉山エリア地域資源マップの作成 ・赤れんがパーク・ハーバルビレッジ連携イベントの開催	448	220	・「吉坂堡塁砲台」のモニターツアーの実施 ・青葉山エリア地域資源マップの作成 ・赤れんがパーク・ハーバルビレッジ連携イベントを実施	舞鶴市・高浜町の周遊を目的とした事業を実施し、2つのまちを訪れるきっかけづくりにつながった。
21	地域づくり 連携推進事業	万博	2025年大阪・関西万博連携事業費	【事業の目的】 2025年の大阪・関西万博を見据え、本市が有する日本遺産の構成文化財等の地域資源をめぐるモニターツアーを実施する。 【事業の内容】 ・日本遺産を活かした旅行商品の造成 ・インバウンド対応の多言語サインを作成・設置	6,369	1,110	・「日本近代化の躍動を体感する晚餐会」をコンセプトに赤れんがパークと海軍食を組み合わせた特別な旅行商品を開発 ・インバウンド向けモニターツアーの実施（ツアー参加者5名） ・赤れんがパークに多言語サインを設置（2基）	・非日常的な「晚餐会」をイメージした設えのもと、海軍食を味わう旅行商品の開発を行い、単なる観光地訪問に留まらない体験を商品化することで、赤れんがパークの新たな魅力を見出すことができた。 ・多言語対応の環境整備により、外国人観光客の利便性を高め、言語の壁をなくすことで、より多くの観光客に快適に観光を楽しんでもらうことに寄与した。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
22	地域づくり 連携推進事業	万博	舞鶴市・高浜町連携 鉄道誘客・公共交通 利用促進事業	【事業の目的】 北陸新幹線敦賀開業を契機として、敦賀から京都府北部地域や福井県嶺南地域へと人流を導くため、福井県高浜町と連携して舞鶴市公共交通ネットワーク会議が実施する人流を導くコンテンツの形成や公共交通の利用促進事業に対して支援を実施。大阪・関西万博において、北陸新幹線やクルーズ客船など多様な手法による万博へのゲートウェイ機能を果たし、圏域の交流拡大を図る。 【事業の内容】 舞鶴市公共交通ネットワーク会議事業費補助金	307	150	(1) 鉄道誘客促進事業 ◇JR新たな観光列車「はなあかり」のおもてなし事業 ・運行日:令和6年10月～12月の土日、計24日間 ※全便全列車全席完売 ・実施内容：運行記念ノベルティグッズの配布、ゆるキャラによるお出迎え、記念写真用撮影スタンドの設置、舞鶴土産の販売、手旗・横断幕によるお見送りなど (2) 公共交通利用促進事業 ◇「キッズバス乗車体験（バスの乗り方教室）」の実施 ・開催数：2回 ・参加者数：計60人（児童33人、保護者27人） ◇京都交通高浜線における「移動美術館バス」の運行 高浜線沿線の志楽幼稚園、タンポポこども園、認定こども園cocokara(高浜町)、青郷保育所(高浜町)、和田保育所(高浜町)、高浜キッズこども園(高浜町)の園児作品(絵画)をバス車内に掲出して運行 運行期間:令和7年1月11日～令和7年3月2日	成果指標「JR西日本の新たな観光列車「はなあかり」おもてなし事業の実施」「北陸新幹線敦賀開業を生かしたJR小浜線誘客促進事業の実施」に対して、令和6年10～12月のはなあかり運行のおもてなし事業を実施し、また成果指標「京都交通高浜線におけるバス乗車体験等のモビリティ・マネジメントの実施」に対しては、キッズバス乗車体験や移動美術館バスといった事業を実施しており、本市をはじめとした京都府北部地域への人流拡大に向けたコンテンツの形成に取り組むことができたほか、公共交通利用に対する意識を醸成することができた。
23	地域づくり 連携推進事業	万博	京都舞鶴港クルーズ 推進事業費	【事業の目的】 大阪・関西万博を契機として、京都の海からお客様をお迎えできる「港まちの強み」を生かし、地域特性に応じた多様なクルーズ寄港の促進と、インバウンド観光などによる地域への経済効果の波及、さらには、市民との交流機会の創出など、多様な観点から好循環を生み出していく。 【事業の内容】 ・クルーズ対応業務 ・国内・海外船社等に向けた観光プロモーション	5,468	2,730	・令和6年度計11回のクルーズ寄港対応（シャトルバスの運行、通訳の手配） ・船社、旅行会社への訪問	クルーズ寄港時の対応や国内・海外船社等に向けたプロモーションを実施することで、大阪・関西万博を契機とした今後のクルーズ寄港の増加や観光促進に繋げるPRをすることができた。
24	地域づくり 連携推進事業	万博	大阪・関西万博に向けた韓国船社等モニターツアー	【事業の目的】 韓国からのインバウンド需要を取り込む試みとして、2025年にフェリー・クルーズによる大阪・関西万博と海の京都エリアを一体的に楽しめるモニターツアーを実施するため、京都舞鶴港振興会に対して経費を負担する。 【事業の内容】 ・京都舞鶴港振興会による船社の視察受入	1,350	670	・フェリー・クルーズ運航社の視察受入	フェリー・クルーズ運航社の視察受入や訪問等により、舞鶴や海の京都エリアのPRをすることで、韓国からのインバウンド需要を取り込むための事業をすることができた。
25	地域づくり 連携推進事業	交流と 連携	市民との対話集会開催事業	【事業の目的】 開かれた市政の推進を図り、透明性ある市政情報の発信を行うため、市民との対話集会等を開催し、市民の意見を市政に反映できる市役所づくりを実施する。 【事業の内容】 事業テーマに沿った対話を行い、市民の意見を市政に反映できる市役所づくりを実施する。	200	100	対話集会テーマ ・こどもたちの教育環境 ・目指せ！未来の看護師 ・こども・子育て ・性の多様性/性別で見る多様性と人権	市民と直接対話することで、地域課題を正確に認識することができ、施策へ展開することができた。 また、市長が直接市民と対話することで、市民のまちづくりへの意識の醸成することができた。 発言者：100名 傍聴者：36名
26	地域づくり 連携推進事業	交流と 連携	元気なまちづくり事業費	【事業の目的】 自治会等の活動を支援し、魅力的で活力ある地域社会の実現を図るもの。 【事業の内容】 ・自治会等が実施する「新たな人と人との交流のきっかけを生み出す活動」や「地域の魅力を向上させる活動」等の元気なまちづくり事業に要する経費に対する補助 ・補助金活用事例集の作成	1,191	590	交付実績 8件	自治会等が実施する新たな地域イベントや環境美化活動等、地域を元気にする事業に補助を行うことで、地域の交流が促進され、魅力が向上し、地域コミュニティの維持・活性化に寄与した。 また、新たに事例集を作成し、自治会長に配布をすることで、補助金の活用促進を図った。
27	地域づくり 連携推進事業	交流と 連携	地域活性化推進事業費	【事業の目的】 大浦・加佐地域活性化センターが現地現場で地域住民や団体等と連携・協力し、地域コミュニティの支援、人材の育成、移住定住の促進、一次産業の振興等に取り組み、持続可能な魅力ある地域づくりを推進するもの。 【事業の内容】 ・地域資源を活用した公民館との連携事業 ・農漁業体験の開催 ・移住者との交流会の開催	1,615	800	地域資源を活用した交流促進事業の実施（延べ66回 3,268人）	大浦、加佐両地域とも自然豊かな地域であり、その特色を生かした様々な交流が行われている。その中心となっている場所は両センターが拠点としている公民館であることから、公民館と連携した様々な交流促進を進めることができた。
28	地域づくり 連携推進事業	交流と 連携	西市民プラザ利用促進事業	【事業の目的】 ・設立から約20年が経過し、施設を取り巻く環境も変化していることから、改めて当施設の運営方針について考えるため、意見交換会を開催するもの。 ・施設利用の少ない若者の利用促進を図るため、現在若者の利用頻度が高いスタジオに設置している音響設備の更新。 【事業の内容】 ・西市民プラザの運営方針に関する意見交換会の開催 ・スタジオに設置している音響設備の更新	448	220	意見交換会の実施 計5回 施設利用者数 61,888人 スタジオ利用者数 2,474人	周辺住民や施設利用者、関係団体、学識経験者等をメンバーに施設の設立経過及び目的の共有し、市民活動の必要性や他地域の先進事例を学び、活動のアイデアを出し合うなど市民活動において大切なことについて対話を重ね、参加者全員で意見を出し合い施設の運営方針を決定した。 また、施設利用者、スタジオ利用者いずれも前年度より増加し、施設の利用促進につながった。
29	地域づくり 連携推進事業	その他	自治会施設等整備事業費補助金	【事業の目的】 自治会が抱える安心安全の確保等の地域課題の解決と負担軽減を図るもの。 【事業の内容】 自治会が所管する施設（集会所、放送施設、交通安全灯、防犯カメラ）の整備等に対する補助	7,312	3,650	交付実績 (1)集会所整備事業 15件 (2)放送施設整備事業 4件 (3)交通安全灯整備事業 33件 LED更新72灯、新設33灯、撤去1灯 (4)防犯カメラ整備事業 4件（6台）	地域活動を行う拠点である集会所、地域内の情報共有や災害時の連絡等で必要な放送施設、地域の安全性の確保に必要な交通安全灯や防犯カメラの整備等、自治会活動を行うために必要な施設の整備に補助を行うことで、持続可能性を高め、地域の安心安全の確保に寄与した。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
30	地域づくり 連携推進事業	交流と 連携	多世代交流による地域づくり推進事業費	【事業の目的】 多世代交流施設「まなびあむ」において、住民相互の交流、公民館活動事業の活性化、良好な地域社会の維持及び形成に資する継続的な生涯学習を行い、魅力的で活力ある地域社会の実現を図る。 【事業の内容】 各年齢等の対象別に、体験講座や料理教室、運動教室や知識・学習講座など、地元ニーズに対応した参加しやすい事業を実施。	3,331	660	・高齢者向け各種講座を252回実施（体操教室・いきいきセミナー等） ・青少年向け各種講座を4回実施（料理教室・工作教室等） ・現役世代向け各種講座を20回実施（ボクシング教室・健康づくり教室等） ・多世代交流事業を333回実施（各種定期講座・父子キャンプ等）	各種講座・教室の参加者は延べ9,010人となり、事業の中で興味関心を通じた交流が生まれ、ゆるやかにつながることはもちろん、事業後も継続したつながりが生まれており、活力ある地域づくりの土台となる人づくり事業が展開できた。
31	地域づくり 連携推進事業	その他	地元再発見「ふるさと舞鶴」地域学推進事業費	【事業の目的】 IT技術を活用し、だれもが地域資源の情報等にアクセスでき、それを活用・継承することで、地域への愛着と誇りをもつ人づくりにつなげるための事業を実施する。 【事業の内容】 ・地域学セミナーの実施 ・地図アプリの活用	1,216	600	地図アプリ「ambulamap」を運用。 各種、地域の歴史に関する講座の実施や、東舞鶴地域（駅北側）のまちあるきマップを作成するためのワークショップを3回実施。 ワークショップを通してデジタルマップ作成。	デジタルマップを運用することで、だれもが地域の情報にアクセスできる環境を提供できた。 また、ワークショップでは、まちあるきの第一人者であるデザイナーを講師とすることで、新たな視点で地域の魅力を発見でき、参加者同士で試行錯誤しながら、マップを作成することで、その経過の中で地域への愛着や誇りを深めることができた。
32	地域づくり 連携推進事業	文化の 力	世界記憶遺産国際ブランド推進事業費	【事業の目的】 ユネスコ世界記憶遺産登録資料等を活用し、グローバルな視点で国際平和を願う歴史文化の交流・発信の拠点として、国内外の学校教育機関、博物館関係機関と連携したアウトリーチ活動をより積極的に実施する。 また、国内外の教育機関や、引揚港の歴史を有する全国の都市の協力を得て、引き揚げに関する話題を掘り起こし、国内外への発信を行うことで、舞鶴市及び舞鶴引揚記念館の国際ブランド力の強化に繋げる。 【事業の内容】 ・ネットワーク形成と国際ブランド推進事業 ・学術交流推進事業等による「次世代による継承事業」 ・国内外情報発信事業	3,582	1,790	・京都舞鶴-世界記憶遺産×日本遺産in丸の内巡回展開催：来場者1,780人 ・学生語り部研修の実施：昭和館見学と語り部の講話聴講、平和祈念展示資料館見学、平和未来フォーラム参加 ・学生語り部の次世代による発信（FM京都）：学生語り部3名	海外引揚開始80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年を迎える2025年を前に、記憶遺産登録資料等を活用した丸の内での巡回展を開催し1,780人が来場。博物館関係機関と連携した学生語り部研修や交流事業、次世代による情報発信など、次世代による継承事業につなげる取組が実施できた。
33	地域づくり 連携推進事業	文化の 力	世界記憶遺産資料保存活用事業費	【事業の目的】 ユネスコ世界記憶遺産登録資料をはじめとする引き揚げに関する所蔵資料を後世に永く引き継いでいくため、白樺日誌等の保存修復にかかる調査研究や館内の保存・展示環境の調査を実施するなど、世界的に重要な資料の保存と活用の両立を目指す。 【事業の内容】 ・白樺日誌等の保存修復に係る調査研究等	3,606	1,800	白樺日誌保存の修復調査研究を実施	白樺日誌の保存修復にかかる調査研究を実施。館内の保存・展示環境整備とあわせて、世界的に重要な資料を後世に永く引き継いでいくための調査研究を継続し進める。
34	地域づくり 連携推進事業	交流と 連携	舞鶴市SDGs若者チャレンジ事業費	【事業の目的】 地元で地域課題解決に取り組んでいる市民団体・地元企業人などと、地域をフィールドとして学びたい学生と一緒にSDGs体験プログラムを実施し、地域課題の解決に取り組む関係人口の創出を図るとともに、将来の担い手育成、移住者となるきっかけを作る。 【事業の内容】 大学生を対象としたSDGs体験プログラムの実施	4,996	2,490	市内外の若者が1泊2日で舞鶴市内の企業を訪問するツアーを2回実施。参加者はのべ33名。	市内外の若者が舞鶴市の企業の現場に触れることで舞鶴市に対する新たな価値観を見直すきっかけづくりができた。
35	地域づくり 連携推進事業	その他	舞鶴市交通対策協議会事業費補助金	【事業の目的】 市民の自転車用ヘルメットの着用を促進し、自転車利用者の生命の安全を図るもの。 【事業内容】 自転車用ヘルメットの購入費用に対する補助	1,722	860	交付実績 861件	多くの市民への自転車用ヘルメットの着用に寄与するとともに、自転車利用者の安全性や交通安全意識の向上につながった。
36	地域づくり 連携推進事業	生涯現 役・共 生	社会福祉協議会事業費補助金	【事業の目的】 ボランティア活動の充実や促進を図るため、舞鶴市社会福祉協議会がボランティア活動の調整役となるボランティアコーディネーターを設置し事業実施することについて、補助金を交付する。 【事業の内容】 ・舞鶴市ボランティアセンター事業の実施 ・ボランティア活動者への活動支援 ・福祉教育に関する事業	1,764	880	舞鶴市ボランティアセンターのボランティア登録者数（令和6年度末現在）個人13人、団体57団体（計1,754人）（ボランティア保険加入者数575人）	ボランティアコーディネーターを設置することで、ボランティア活動のマッチングや普及促進活動を行い、ボランティア活動をしてみようという人材の拡大、地域福祉の推進につながった。
37	地域づくり 連携推進事業	子育て 環境日 本一	障害児通園事業費補助金	【事業の目的】 児童発達支援施設において、成長や発達に丁寧な支援が必要な子どもに対し一人一人の状況に応じ利用者に寄り添った療育を実施する。 【事業の内容】 児童発達支援事業や相談支援事業、保育所等訪問支援事業等を行う児童発達支援施設の運営主体に対し、事業の円滑な実施のため経費の一部を補助。	22,848	11,420	利用実績 ・児童発達支援事業：799人/年（延べ利用回数：1,961回） ・保育所等訪問支援事業：44人/年 ・相談支援事業：255人/年	親子療育や就学に向けた先輩保護者との座談会の開催、併行通園先、就学先、こども療育センター等との連携などにより、子と保護者を一体的に支援し、療育の質の向上を図ることが出来た。 また、専門知識を持つ職員による、子に最適な障害福祉サービスの紹介や関係機関との連携により、適切な支援体制づくりに寄与した。
38	地域づくり 連携推進事業	子育て 環境日 本一	保育所等発達支援事業費補助金	【事業の目的】 保育園、認定こども園に入所している児童の発達に応じた保育を提供し、その健全な発達を支援する。 【事業の内容】 児童の発達支援を目的として、発達支援保育士を配置（加配）している施設に対して、その保育士の人件費にかかる経費を補助金として交付する。	27,818	13,545	補助金交付施設 4施設	発達支援が必要な子どもが増える中で、この補助金を活用することにより、発達支援を行うための保育士の雇用が進んでおり、手厚い支援体制の向上を図ることができた。
39	地域づくり 連携推進事業	健康・ 医療・ 福祉	予防接種事業費	【事業の目的】 子宮頸がんは20～30歳での発症が多く、その治療のため妊娠が困難になる女性も多くいることから、子宮頸がんについて正しい知識やがん予防について広く周知することで、ワクチン接種の推進、がん検診受診の推進を図る。 【事業の内容】 市内高等学校とその保護者、一般市民を対象とし、子宮頸がん予防の講演会を実施。	137	60	子宮頸がん経験者、夏目亜季氏による市内高校生への講演を実施（4校 延624人）	講演及び個別勧奨により、HPVワクチンの接種率が向上した。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
40	地域づくり 連携推進事業	健康・ 医療・ 福祉	医療従事者確保対策 事業費	【事業の目的】 舞鶴市内の病院看護師や薬剤師を確保するため、市内公 的病院等での研修に要する経費の一部を支援し、市内で の勤務につなげ地域医療の充実を図る。 【事業の内容】 看護師の資格を持つ就業希望者や看護学生を対象に実施 するナースインターンシップや、薬学生が市内の医療機 関等で実施される実務研修に参加するために必要な経費 の一部を支援。	407	200	◆看護師確保対策支援事業 市内の公的4病院が連携し、合同 で「舞鶴ナースインターンシッ プ」を初めて開催。2日間の日程 で4病院を巡り、それぞれの病院 の特長や看護スキルについて学ぶ 機会を提供した。 参加者14人（うち市内出身者 4人） ◆薬学生実務実習支援事業 舞鶴薬剤師会が企画実施する研修 プログラムに3名の薬学生が参 加。	ナースインターンシップに参加し た2名が、市内の公的病院に就職 が内定し、新たな人材確保が実現 した。 また、薬学生の実務実習支援で は、単に専門スキルを習得するだ けでなく、市内での長期滞在を通 じて地域の生活や魅力を肌で感じ ていただき、キャリア形成ととも に、この地域で働き暮らすことへ の関心を高めることができた。
41	地域づくり 連携推進事業	健康・ 医療・ 福祉	「地域医療の充実」 共同研究事業費	【事業の目的】 人口減少、少子高齢化といった共通の社会的課題を有す る府北部地域において、医師の不足や診療科の偏在と いった医療課題について、京都府立医科大学と舞鶴市が 共同で研究に取り組み、地域医療の充実につなげる。 【事業の内容】 府北部の周産期医療のさらなる充実を目指して、周産期 医療の実態について統計と解析を行う。	19,800	9,900	◆研究テーマ 「京都府北部地域の周産期医療体 制整備事業～周産期サブセンター の機能強化に向けて～」	舞鶴医療センターの常勤医師が拡 充され、夜間の当直医にオンコー ル医師を加え、帝王切開等の緊急 時の対応が可能となった。患者 数・分娩数とも増加傾向となり、 医療提供体制の確保を図ることが できた。
42	地域づくり 連携推進事業	健康・ 医療・ 福祉	医療機能最適化検討 事業費	【事業の目的】 令和5年度に行った「持続可能な地域医療を考える会」 や「地域医療シンポジウム」を踏まえ、舞鶴市における 持続可能な医療提供体制の実現に向け、各種データ等を 用いながら、将来、舞鶴市に求められる医療機能をどの ように確保していくのか、複数の選択肢を挙げて検討す る。 【事業の内容】 「舞鶴市医療機能最適化検討会議」を開催し、将来、舞 鶴市に求められる医療機能や確保策について検討してい く。	11,901	5,950	◆舞鶴市医療機能最適化検討会議 ・開催回数：5回 ◆地域住民等への情報発信や意見 交換会の開催 ・病院職員説明会（公的4病 院）参加者計247人 ・これからの医療提供体制に関 する住民との意見交換会 《東地区》参加者48名（ほか 傍聴者12名） 《西地区》参加者61名（ほか 傍聴者16名） ◆地域医療シンポジウムの開催 ・参加者261人 ◆令和7年2月21日 舞鶴市及 び公的4病院長が基本合意書を締 結	持続可能な医療提供体制の構築に は抜本的な見直しが必要との結論 に至り、市民への丁寧な説明と理 解を求めた上で基本合意書の締結 に至ったことは、大きな成果で ある。引き続き、公的4病院の再 編・統合を視野に入れた詳細検討 を順次進めていく。
43	地域づくり 連携推進事業	京都産 業	舞鶴のお野菜普及事 業費	【事業の目的】 農産物である「万願寺甘とう」「舞鶴茶」を、水産物で ある「丹後の海育成岩がき」「丹後とり貝」とセットで PRする「夏グルメキャンペーン」を実施することによ り、相乗効果による認知拡大と観光誘客を図る。 【事業の内容】 「夏グルメキャンペーン」に向けて、取扱い店舗や店舗 の場所が分かるパンフレットデザインを制作する。	400	200	農水産物PR用メインビジュアル の制作	メインビジュアルを制作すること で、伝えたい情報を分かりやすく 直感的に発信するための環境を整 えることができた。
44	地域づくり 連携推進事業	その他	地域活動支援事業費	【事業の目的】 住民自らが自分の住む地域の防災力の維持、回復を図 るために実施する農地・農道・林道などの復旧事業等 に対して支援を行う。 【事業の内容】 事業主体：自治会等 支援内容：復旧事業等に必要な原材料を支給	2,752	1,210	復旧事業等に必要な原材料を支 給。 土地改良分：間伐材11地区,417 本、碎石23地区191.5㎡ 治山分：間伐材2地区35本 林道改良分：碎石4地区33㎡	地域住民による林道等の復旧事業 を行うことで、災害の軽減、コ ミュニティの活性化等が図れた。 また、住民自ら安全で安心に生活 できる地域をつくるために行動す ることにより、更に地域防災力の 向上を図ることができた。
45	地域づくり 連携推進事業	その他	治山事業費補助金	【事業の目的】 山崩れ等により被害が人家に及んだ場合の、住民等が行 う30万円以上の復旧工事に対して補助を行う。 【事業の内容】 事業主体：住民等 補助対象：山崩れ等の復旧工事のうち、国府の補助対象 とならないもの 補助率：事業費の2/3（災害復旧（激甚災害）は3/4）	308	150	復旧工事の補助。崩土撤去1箇所、 30㎡	近年の多様な災害・危機事象から 市民の生命と財産を守り、市民が 安全、安心に暮らすことができる 環境整備を図ることができた。
46	地域づくり 連携推進事業	京都産 業	有害鳥獣被害防止対 策事業費	【事業の目的】 有害鳥獣として捕獲されたイノシシやシカは、中丹3市 で運用する処理施設で焼却処分しているが、近年、イノ シシに加えシカの捕獲頭数が増加し、処理施設搬入前 の一時保管庫の容量を圧迫している。その解消のため、 処理方法の多角化の1つとして、ペットフード加工に取 り組む。 【事業の内容】 有害鳥獣として捕獲され、焼却処分前の一時保管庫に搬 入されたニホンジカをペットフード用の原料として加工 施設へ運搬し、ジャーキーなどに加工し、ふるさと納税 返礼品として販売する。	468	230	ニホンジカの処理頭数：42頭	捕獲した有害鳥獣の処理方法の一 つとしてペットフード加工の有効 性が確認できた。
47	地域づくり 連携推進事業	その他	間伐材利用促進事業 費補助金	【事業の目的】 舞鶴市内で伐採した間伐材を搬出利用した者に対し補助 を行うことにより、間伐の実施を促進し、豪雨災害時 等の流木被害の防止を図る。 【事業の内容】 実施主体：市内林業木材業者等 補助対象：舞鶴市内で伐採した間伐材の搬出利用 補助率：A材（製材）・B材（集成材・合板事業材）1㎡ 当たり2,000円	1,160	580	間伐材搬出材積：580㎡	災害防止も含めた間伐の促進に寄 与した。 一方、目標とする3,800㎡（目標 年2027年）にはまだ至らず、継続 的な支援が必要であると考える。

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
48	地域づくり 連携推進事業	京都産業	まいづるのお魚普及 事業費	【事業の目的】 舞鶴への来訪目的となる「食のブランド」を築き上げるための一つの柱として、「舞鶴のさかな」のブランド価値向上を持続的に取り組む。 【事業の内容】 ポスター・マップ・SNSの活用により、年2回（春夏及び秋冬）のプレゼントキャンペーン（舞鶴のさかな提供店利用者のみが応募できる）の周知を図り、顧客満足度を大切にする「舞鶴のさかな提供店」の利用促進を図り、「舞鶴のさかな」料理のリピーターの増加に繋げる。 また、「舞鶴のさかな」である「丹後とり貝」「丹後の海 育成岩がき」「のどぐろ」,京都舞鶴産「雅がき」,「舞鶴かに」及び「京鯖」等について、報道機関やテレビ番組等への情報提供をすすめ、戦略的なPRを実施する。	1,345	670	・マップ作成 「舞鶴のさかな」提供店46店舗を掲載したマップを春夏・秋冬の年2回作成（年間40,000部）し、市外の道の駅などに配布 ・プレゼントキャンペーン 春夏・秋冬の年2回、提供店で利用できる商品券が当たるキャンペーンを実施 （春夏）1万円分(5,000円券×2枚)」1名、3千円分を50名 （秋冬）3千円分を50名 ・「舞鶴かに」PR ズワイガニ漁解禁日に合わせ、PRキャラクター「チョキまる」が初セリに参加し、会場を盛り上げた。 ・お魚授業の実施 舞鶴で水揚げされた水産物が給食になるまでの過程や舞鶴の漁業について説明 小学3年生を対象に、市内18小学校で実施	・マップ作成による市外からの誘客促進や地域経済の活性化につながった。 ・プレゼントキャンペーンによる提供店への集客とリピーター獲得に寄与した。 ・「舞鶴かに」「丹後とり貝」「丹後の海育成岩がき」「京鯖」のブランドイメージ及び知名度向上、観光誘致や特産品の需要喚起に貢献した。 ・魚食普及、漁業という仕事への理解を通じて郷土愛を育むことができた。
49	地域づくり 連携推進事業	京都産業	舞鶴ブランドプロモーション事業費	【事業の目的】 「赤れんが」「海・港」をシンボルイメージとした舞鶴ブランドによる誘客推進を図り、国内外から広域集客及び外国人観光客も含めた交流人口の増大、観光消費の拡大、観光産業による地域経済の活性化を目指す。 【事業の内容】 ①地域ブランドプロモーション事業委託 ②インバウンド事業委託 ③散策スポット整備	3,718	1,560	①首都圏プロモーション「東京特別展」出展 ②インバウンド誘客事業委託 海外向け商談会への参加、海外向けメディアにおける情報発信 ③しおじプラザに設置されている錨モニュメント塗装工事の実施 586,300円	①「赤れんが」「海・港」といった舞鶴観光ブランド戦略に基づくプロモーションにより、施策観光誘客促進を図ることができた。 ②インバウンドに向けた商談会や北陸新幹線開業に合わせたイベント出展等、新たな取り組みによる交流人口拡大に努めた。 ③観光客が多く集まる同広場において、劣化した錨のモニュメントを塗装したことにより、来園者へのイメージアップにつながった。
50	地域づくり 連携推進事業	京都産業	企業誘致実現プロジェクト事業費	【事業の目的】 製造業など事業活動に大量の水道水を使用する企業に対し、水道料金を支援することで、舞鶴市における企業の立地を促進するとともに、市内で操業する企業の円滑な事業運営の支援を行う。 【事業の内容】 1か月の使用水量が20,000㎡を超える大口需給者として個別需給給水契約を締結している企業に対し、水道料金の一部を補助。	17,826	8,910	上期（3～8月）、下期（9～2月）の年2回、3事業者に対し水道使用実績に応じて補助金を交付	大量の水道水を使用する企業に対し年2回にわたり補助金を交付することで、円滑な事業運営の支援を行うことができた。
51	地域づくり 連携推進事業	京都産業	まちなかイノベーション推進事業費補助金	【事業の目的】 商店街をフィールドとした市内の意欲ある市民団体（商店街、NPO法人や民間企業等）に活躍する場を提供し、商店街とともにまちなかににぎわい創出やまちづくりに関われる体制作りを促進するとともに、商店街をはじめ、まちなかへの新たな集客性、回遊性を高め、また地域と繋がることで、地域全体に賑わいを創出する取り組みを促進するもの。 【事業の内容】 商店街等の団体が賑わいを創出するためのイベント等の取組を支援する。	3,000	1,500	東西商店街での夏の風物詩である夜の市の実施や、グルメフェスタなど全9件のイベントへの支援を行った。	商店街をはじめ、市街地への集客性、回遊性を高め、新たな賑わいを創出することができた。
52	地域づくり 連携推進事業	災害・犯罪からの安全	道路維持管理経費（うち土のうステーション管理業務）	【事業の目的】 市民がいつまでも安心して暮らしていくために、自然災害や身の回りに起こり得る危機事象への対応や、市民一人ひとりが主体となる市民の意識を高める取組を通じて、安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。 【事業の内容】 出水期に地域住民が土のうを作製するための「土のうステーション」を設置し、家屋等への浸水被害軽減を図る。	1,179	580	制作数 2,700袋 利用実績 2,357袋	市民が自主的に防災対策を行う「自助」の取り組みを後押し、浸水災害の軽減を図ることができた。
53	地域づくり 連携推進事業	その他	道路維持管理経費（うち舞鶴市花とふれあいのまちづくり事業）	【事業の目的】 JR東西駅前の緑地等に市民の有志によるボランティア団体や、高校のボランティア部が花を植栽し、まちの潤いを創出する活動に対して補助金を交付する。 【事業の内容】 舞鶴市の玄関口でもあるJR東西駅前の緑地等に市民の有志によるボランティア団体や、高校のボランティア部が花を植栽し、まちの潤いを創出する活動に、市も補助金を交付するなどして官民協働の街づくりを推進する。	404	200	京都府立西舞鶴高等学校 54㎡ 西浜北を元気にする会 6㎡ はなはな倶楽部 163㎡ 38㎡ 16.4㎡ 163㎡	市民ボランティア団体等が行う花苗の植栽活動への支援を通して、市民と行政の連携・協働による、花を通じて人と触れ合うことのできるまちづくりを推進することができた。
54	地域づくり 連携推進事業	災害・犯罪からの安全	道普請推進経費	【事業の目的】 いつまでも安心して暮らしていくために、自然災害や身の回りに起こり得る危機事象への対応や、市民一人ひとりが主体となる市民の意識を高める取組を通じて、安全で安心して暮らせるまちづくりを進める。 【事業の内容】 自治会等が実施する道路及び水路の修繕に対して土嚢袋や碎石など資材支給し支援を行う。	1,629	810	碎石・丸太杭支給 延べ9地区	自治会への資材支給により、住民が自主的に身近な道路や水路の小規模な修繕に取り組むことで、地域のインフラ維持管理に貢献した。
55	地域づくり 連携推進事業	その他	まちなか活性化事業費（西舞鶴駅西口広場土地利用調査研究）	【事業の目的】 子どもから高齢者にとって利便性が高く効率的で暮らしやすいまちづくりを目指し、中心市街地の新たなライフスタイルを創造するため公共空間の活用方法について調査・研究を行うもの。 【事業の内容】 ・仮設のストリートファニチャー、パークレットのデザイン、提案 ・広場内の人の流れのシミュレーション作成 ・提案の報告書作成・ストリートファニチャーのモックアップ作成	249	120	西舞鶴駅西口整備に伴い旧バス待合所を含む前面に生じる未利用地（公共空間）の活用方法について舞鶴高専へ調査・研究を委託。 ・仮設のストリートファニチャー、パークレットのデザイン提案 ・PCのプログラムにより広場内の人の流れのシミュレーション ・ストリートニチャーのモックアップ作成	他都市の事例調査を行い、R7年度に予定している実証実験に向けた準備ができた。

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
56	地域づくり 連携推進事業	その他	公園緑地整備事業	【事業の目的】 獣害防止フェンス及び獣害対策ネットを設置し、鹿や猪の園内への侵入を防ぎ、舞鶴自然文化園におけるアジサイの再生を図る。 【事業の内容】 ・獣害防止フェンス設置工事 ・獣害対策ネット購入	4,318	2,150	獣害防止フェンス設置（H=2m） L=450m〔溶融亜鉛めっき加工〕 C=4,317,500円	今回市道側に獣害防止フェンスを新たに設置したことにより、園内をフェンスで囲むことができ、鹿やイノシシなどの有害鳥獣の侵入を防ぎ、アジサイなどの植栽を守ることができた。
57	地域づくり 連携推進事業	災害・ 犯罪からの安全	火災予防対策強化事業費	【事業の目的】 火災を予防し、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災等の災害による被害を軽減することを目的とし、次の事業により地域防災（火災予防）の推進を図る。 【事業の内容】 ①市内事業者等に対し防火管理体制の充実を図るため、防火管理講習を実施 ②火災において初期消火に協力した市民に対し消火器の詰替又は給付等補助事業を実施 ③消火器の詰替又は給付等補助事業完了までの間、対象者に貸し出す代用消火器の配備 ④火災予防運動やイベントなどを活用した火災予防広報の実施	213	100	①防火管理講習(法定講習) ・実施回数：3回/年 ・受講者数：82名 ②初期消火に協力した市民に対する消火器の補助事業 ・対象火災：1件 ・補助対象：消火器4本 ③代用消火器の配備 ・粉末10型消火器2本 ④火災予防広報 ・火災予防運動用横型看板の作成 ・市内の高校とタイアップした防火看板の作成 ・路線バスへ掲示する防火ポスターの作成 ・イベントで配布する火災予防普及啓発品の購入	令和6年度は当該事業の中でも特に火災予防広報に注力した。市内を走る路線バスに防火ポスターの掲示や市内各地の施設で防火タスキの着用を依頼するなど、幅広い年齢層をターゲットにより多くの市民に対して普及啓発できる方法を検討し実施した。 特に、春季火災予防運動では、今回初めて市内の高校（書道部）とタイアップして防火看板を作成し、JR西日本と大型量販店の協力も得て、駅待合と店舗の利用者に対して防火意識の高揚を図った。防火看板の掲示では、「すごい迫力」、「初めて見た」、「上手に書けている」など多くの声が寄せられ一定の効果があったと感じている。 火災予防広報では事業効果が顕著に現れにくいが見え、今後も火災を未然に防止するために様々な方法を検討しながら火災予防広報を行っていく。
58	地域づくり 連携推進事業	災害・ 犯罪からの安全	防災力強化事業	【事業の目的】 火災や地震のみならず、多発する集中豪雨や台風への対応など、「自助・共助・公助による市民防災力の向上」を図る。 【事業の内容】 ①操法訓練に必要な資器材の整備 ②防災センターの資材整備	710	340	①第29回京都府消防操法大会（消防ポンプ車の部・小型ポンプの部）への出場に伴う放水的購入112,000円 ②災害対策会議室（移動式放送設備）音響機器購入598,000円	①京都府消防操法大会に本市消防団が2種目出場し、消防団員の消防技能の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実に寄与することができた。 ②防災・減災に対する市民の関心が高まり、地震・風水害等の自然災害など事故への対応が求められる中、緊急消防援助隊派遣や受援に伴う災害対策本部会議や受援本部運営の設備や準備を向上させることができた。
59	地域づくり 連携推進事業	災害・ 犯罪からの安全	備蓄物資整備事業費	【事業の目的】 近年の自然災害の頻発に伴い、地域の防災体制を強化するため、備蓄物資を計画的に整備し、災害時の住民生活の安全を確保する。 【事業の内容】 被災時に必要となる備蓄物資を計画的に整備するとともに、避難所等において、電力喪失時の電力を確保するための蓄電池も合わせて整備する。	2,214	1,100	災害発生時の多様なニーズに対応するため、備蓄物資の計画的な整備を実施。飲料水2,304本やアルファ化米900食、パン720食、クッキー500個、液体ミルク336本といった食料に加え、毛布200枚、段ボールベッド4台、ラジオ2台、哺乳ボトル96個、子供用・大人用おむつ408枚、生理用品（ナプキン）170枚などを備蓄。さらに、電力喪失時の電力を確保するため可搬型蓄電池4台を整備し、拡充を図った。	被災時の多様なニーズに対応できるよう、計画的な備蓄物資の整備・更新を着実に実施。被災者の命と生活環境に不可欠な基本8品目に加え、電力確保のための蓄電池を含む資機材の備蓄は、避難所の環境整備を推進した。継続的な整備の実施により、災害発生時においても、常に万全の体制を維持でき、地域防災力の向上にも繋がっている。
60	地域づくり 連携推進事業	子育て 環境日本一	通学援助事業費	【事業の目的】 学校の統廃合が進み、遠隔地から小中学校へ通学する児童生徒に対し、学校の時間割の関係や部活動、課外行事の関係で、路線バス等の公共交通機関で帰宅が困難な場合に臨時バスやタクシーの手配を行う。 【事業の内容】 対象校（小学校4校、中学校3校）の遠隔地からの通学者に対し、公共交通機関で帰宅が困難な場合に手配したタクシー等の使用料	4,346	2,160	臨時バス・タクシー使用実績 小学校 臨時バス（1校 16回） タクシー（4校 591回） 中学校 タクシー（4校 498回）	成果指標「授業がよくわかると回答した児童の割合小学校（6年生）85％」に対し、令和6年度の調査結果が81.7％と目標値の達成には至らなかったが、地域の教育環境への課題解決に資する取組により、学力の定着・教育環境の向上を図るための支援ができた。
61	地域づくり 連携推進事業	子育て 環境日本一	夢チャレンジサポート事業費	【事業の目的】 子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来社会に貢献できる人材を育成するために、語学能力の向上（英語検定へのチャレンジ支援）や地域の大人の話を聞き、次代の京都を支える人材を育成する夢講演会などを行い、一人ひとりの能力や個性を伸ばし、新たな時代を豊かに生きる力の育成に向けた教育を推進するための支援を各中学校に対して行う。 【事業の内容】 (1) 学年毎に市内統一の学力診断テストを実施 (2) 英語検定を受験する生徒への検定料支援 (3) 各学校への事業費補助（進路対策、学力の充実・向上、キャリア教育、地域との協働事業等） (4) 外部講師による講演会を実施	7,858	3,920	(1) 学力チャレンジ…学年毎に市内統一の学力診断テストを実施 3年：令和6年8月30日実施 1・2年：令和7年2月10日実施 (2) 英検チャレンジ…英語検定を受験する生徒への検定料支援 受験者：延べ293人 合格者：延べ180人 (3) 夢サポート事業費補助金…各学校への事業費補助（進路対策、学力の充実・向上、キャリア教育、地域との協働事業等） 中学校7校に計3,500千円補助 (4) 夢講演会…外部講師による講演会を実施 中学校 6校実施（8講演）	成果指標「授業がよくわかると回答した生徒の割合中学校（3年生）82％」に対し、令和6年度の調査結果が80.3％と目標値の達成には至らなかったが、各事業の取組により、学力の定着や豊かな人間性・社会性の育成を図るための支援ができた。
62	地域づくり 連携推進事業	交流と 連携	生涯学習推進事業費	【事業の目的】 少子高齢化や独居老人増加、価値観の多様化等により、人との関りや地域とのつながりが希薄化する中で、安心して暮らせる地域を持続し、地域に愛着をもつ人を育てるため、地域の方と学生が中心に取り組む「壁画アート」プロジェクトを実施。 【事業の内容】 小中学生が自らの夢と地域の未来について話し合い、そのイメージを地域の人と一緒にデザインし、壁画アートの作成に取り組む。	396	190	会場となった南公民館の近隣の小中学生中心となり、自らの夢と地域の未来をテーマに、地域の人と一緒に壁画アートを作成。 壁画アート完成後には、地域に向けた報告会も実施した。	壁画アートをデザインする中で、地域の今やこれからについて、今を担う住人とこれからを担う小中学生が語り合うことで、世代を超えた交流を通じた、地域づくり、人づくりに取り組むことができた。

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費	交付金 充当額	事業の実施状況 （主な実績等）	自己評価 （事業の効果等）
					(実績 額)			
63	地域づくり連 携推進事業	その他	電子図書館運営経費	【事業の目的】 図書館に行きたくてもいけない人に対しても情報や資料を提供することができる、非来館型サービスである電子図書館を令和4年度に導入。これにより、図書館利用層の拡大に繋がるだけでなく、郷土資料や広報誌等行政資料の効率的な情報発信、さらに、音声読み上げ機能の活用による視覚障害者サービスの向上を図っていく。 【事業の内容】 ・電子図書館システム利用料 ・電子書籍（小・中学生向け朝読専用コンテンツ等）使用料	5,648	2,820	令和6年度実績 コンテンツ数 15,165タイトル 登録者数 8,281人 閲覧点数 128,482点 貸出数 62,555冊 予約点数 493点	昨年度と比較して、コンテンツ数、登録者数、閲覧数、貸出数はすべて増加し、一方で予約件数は減少した。これはコンテンツの拡充により、利用者が予約せずに書籍を利用できるようになった結果であり、利便性の向上につながった。
64	地域づくり連 携推進事業	その他	図書館再編推進事業費	【事業の目的】 舞鶴市図書館基本計画に掲げる3つの基本方針、に基づく図書館再編と利用拡大に向けた取組を計画的に進める。図書館市民ワークショップの開催など、市民の意見も取り入れながら図書館再編を進めるとともに、様々な団体との連携事業や利用拡大に向けたサービスを展開させていく。 【事業の内容】 ・中央図書館整備など、図書館再編にかかるワークショップの開催 ・中・南・加佐の3分館とのネットワーク構築にかかる準備	947	470	・市民ワークショップの開催（4回） ・分館蔵書のデータ化に必要なバーコード・ラベルの購入 ・各分館用の図書返却ポスト（3ヶ所分）購入	市民ワークショップを4回開催し、市民の意見を効果的に収集するとともに、再編への意識を高めた。また、分館蔵書のデータ化準備や図書返却ポストの設置は、図書館サービスの基盤強化に繋がり、再編に向けた重要なステップであったと評価する。
65	地域づくり連 携推進事業	その他	地域運動部活動推進事業費	【事業の目的】 子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保できるよう、休日の部活動について学校教育から地域へ段階的に移行する。 【事業の内容】 ・地域移行にむけた実証事業の実施 ・舞鶴市部活動地域移行あり方検討会の開催	322	160	・舞鶴市部活動地域移行あり方検討会の開催 ・年間を通じた活動の実施	令和8年度2学期からの地域展開に向け必要な議論を進めることができた。
66	地域づくり連 携推進事業	その他	赤れんがハーフマラソン開催経費	【事業の目的】 スポーツの普及振興や地域コミュニティの活性化、まちの魅力発信、交流人口の拡大等を目的として、多くの市民や関係団体等の参画、連携により開催する。 【事業の内容】 大会名称：舞鶴赤れんがハーフマラソン2024 コース：日本陸上競技連盟公認 舞鶴赤れんがハーフマラソンコース 開催日：令和6年10月14日（月・祝） 参加定員：ハーフマラソンの部 2,600人 2kmの部 400人	7,233	720	・申込者数：3,005人 ハーフマラソンの部：2,602人 2kmの部：403人	全国的にマラソン大会の参加者確保が困難な中、当初想定していた募集期間の2週間前に3,000人の定員に到達した。また、本市のふるさと納税返礼品を入賞商品に採用し、参加者からも好評を得ているなど、スポーツを通じた地域経済及びコミュニティの活性化や、まちの魅力発信、交流人口の拡大に資することができた。
67	市町村間連携 推進事業		介護人材確保支援事業費	【事業の目的】 府北部7市町、府及び関係団体が連携・協力して、府北部地域における福祉人材の養成・確保及び現任職員の資質向上等の事業に取り組むことを定めた枠組みである「北部福祉人材養成システム」のもと、府事業「北部福祉人材養成システム推進事業」と相互協力しつつ、福祉・介護施設に勤務する方の介護資格取得を支援する。 【事業の内容】 ・介護人材確保支援事業費補助金 舞鶴市内で介護等の業務に従事している者(初任者研修の場合は舞鶴市内に住所を有する者も対象)の介護資格取得を支援。受講費補助を通じて、介護人材の育成と定着を図る。 ア 介護職員実務者研修受講者 補助率2/3 イ 介護福祉士国家試験対策講座受講者 補助率2/3 ウ 介護職員初任者研修受講者 補助率2/3 ※ア〜ウ共通 上限80千円	782	391	介護福祉士資格取得講習等受講料助成金 （高齢者施設7件、421,000円 障害者施設2件、94,000円） 介護職員初任者研修受講料助成金 6件 267,000円	成果指標「介護資格取得研修等受講費補助件数の増」に対し、研修受講等の助成金を通じて、介護人材の育成と定着を図ることができた。
68	市町村間連携 推進事業		中丹地域有害鳥獣処理施設管理運営費負担金	【事業の目的】 農作物被害を軽減させるために捕獲された有害鳥獣を適正に処分するために中丹3市（福知山市、綾部市、舞鶴市）と京都府で協力して整備した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の埋設労力負担を軽減し、計画的な捕獲を推進する。 【事業の内容】 中丹3市において、「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行う。	18,182	5,936	中丹地域有害鳥獣処理施設への搬入頭数 ・シカ及びクマ：1,715頭 ・イノシシ：728頭 ・その他小動物：445頭	駆除隊員の埋設労力負担を軽減することができ、前年を上回る捕獲実績を維持することができた。
69	市町村間連携 推進事業		広域観光連携負担金	【事業の目的】 「北近畿広域観光連盟」や「万博首長連合」等の広域観光団体と連携することで、観光行政の各事業を円滑に推進し、広域的に観光振興を進める。広域観光団体と連携して観光支援に取り組むことで、スケールメリットを活かした、単独ではできない観光プロモーションが可能となる。 【事業の内容】 広域観光団体の構成団体として負担金を分担。	1,327	660	「一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社」・「北近畿広域観光連盟」・「京都府観光連盟」・「日本観光振興協会」・「2025年日本国際博覧会とともに、地域の未来社会を創造する首長連合」等5団体に負担金を拠出。	各広域観光団体および構成自治体等と連携して、イベント開催や旅行商談会・観光物産PR出展等、スケールメリットを活かし、単独ではできない観光プロモーションを展開することができた。
70	市町村間連携 推進事業		京都府中・北部地域消防指令事務協議会負担金	【事業の目的】 大規模災害、豪雨災害、大規模地震等の複雑化・多様化する災害に適切に対応し、将来にわたって持続可能な消防体制を整備・確立する為、京都府中・北部地域を管轄する6消防本部が共同で消防指令センターを運用するもの。 【事業の内容】 京都府中・北部地域を管轄する6消防本部で整備した緊急消防通信指令システムの運用に係る経費や指令センターを設置する福知山市消防本部庁舎指令センター部分の運用に係る経費を6消防本部で負担する。	2,499	1,240	京都府中・北部地域消防指令センター派遣職員：24名（舞鶴市：5名） 令和6年度着信件数：34,079件（うち舞鶴市：6,202件） 令和6年度事業額：14,425,830円（うち舞鶴市：2,498,799円）	消防指令業務を共同で運用することにより、各消防本部における指令業務の省力化を図ると共に、情報の一元管理を行うことにより、大規模災害時における迅速な応受援体制の構築につながった。
71	行政サービスの 質向上・小規模市町村支援事業		D X推進事業費	【事業の目的】 業務のデジタル化により、職員の業務効率化を図る。これにより得られた人的資源を、人にしかできない業務に充てることで、舞鶴市DX推進計画で目指す『住民サービスや市民満足度の向上』を図る。 【事業の内容】 デジタル技術を活用した業務支援ツール（ノーコード・ローコードツール、音声文字起こしツール、生成AIツール）の導入	7,371	2,719	・ノーコード・ローコードツールアカウント数：990人 アプリ作成数：679個 ・音声文字起こしツール使用実績：423会議、22,441分 ・生成AIツール平均利用文字数：411,471文字 平均文字数消費率：21%	・ノーコード・ローコードツール必要とする全職員にアカウントを付与し、各自でアプリが作成できる環境を整備。これにより、現場のニーズに合った業務効率化（データ管理・共有、ペーパーレス化、属人化の解消など）が期待できる。 ・生成AIツール及び音声文字起こしツール時間と労力のかかる文書作成作業を効率的かつ高速化し、誤字や表現の乱れを最小限に抑えることができた。文書作成作業を省力化することで、職員がより重要な業務に集中し、全体の業務の生産性を向上することが期待できる。

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)	交付金 充当額	事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
72	行政サービスの 質向上・小規模市町村支援事業		公会計活用事業	【事業の目的】 本市において、職員が作成していた地方公会計制度に基づく財務書類を外部委託することにより、作業の効率化を図り、早期の決算状況の公表につなげるもの。 【事業の内容】 地方公会計制度に基づき、令和5年度決算の財務書類等の作成する。また、委託業者の協力のもと、本市と他市の財務状況と比較し、各種財政指標による財務状況分析を行うもの。	1,782	890	統一的な基準による令和5年度全体会計決算の財務書類及び固定資産台帳等を作成（財務4表、注記、附属明細等）	財務書類の作成及び分析を専門業者に委託することで、職員の業務削減や作業効率化を図ることができた。また、固定資産台帳の更新により、本市施設の適正な管理運営につながった。
73	行政サービスの 質向上・小規模市町村支援事業		公共施設マネジメント 推進事業費	【事業の目的】 市が所有する公共施設全体を把握し、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、施設の維持等に要する経費の最小化と施設効用の最大化を図ることで、良質な資産として次世代に適切に引き継ぐとともに財政負担等を軽減する取組を推進する。 【事業の内容】 FMの考え方を取り入れた公共施設総合管理計画の公共施設再生基本計画の見直し、第二期公共施設再生実施計画の策定。	3,604	1,800	・公共施設の再生に関する諸計画の見直し、策定案の作成および施設データの整理。公共施設まちづくりワークショップおよび、公共施設マネジメントシンポジウムの開催、公共施設マネジメントについての職員勉強会等の実施。	令和8年度の公共施設の再生に関する諸計画の策定、見直しに向けて計画見直し案の作成およびデータ整理を進め、令和7年度以降の公共施設マネジメント推進事業を進める上での基本資料としての活用が可能となった。また、職員勉強会やワークショップ、シンポジウムを開催し、職員、市民への意識醸成を図ることができた。
74	行政サービスの 質向上・小規模市町村支援事業		道路施設修繕事業費 (街灯LED化)	【事業の目的】 舞鶴市が管理する蛍光灯などの道路照明灯をLED化することで、消費電力の削減による省エネルギー化を推進するとともに、電気料金の削減や点灯可能時間の長時間化による道路照明灯の修繕回数の減少による維持管理コストの縮減を図る。 【事業の内容】 舞鶴市が管理する道路照明灯を、蛍光灯などからLEDへ更新する。	5,281	2,640	R6年度　LED化灯数　78灯 ・灯具取替　47灯 ・管球取替　31灯	道路照明灯のLED化により、消費電力の削減による省エネルギー化を推進するとともに、電気料金を削減し、維持管理コストを削減することができた。